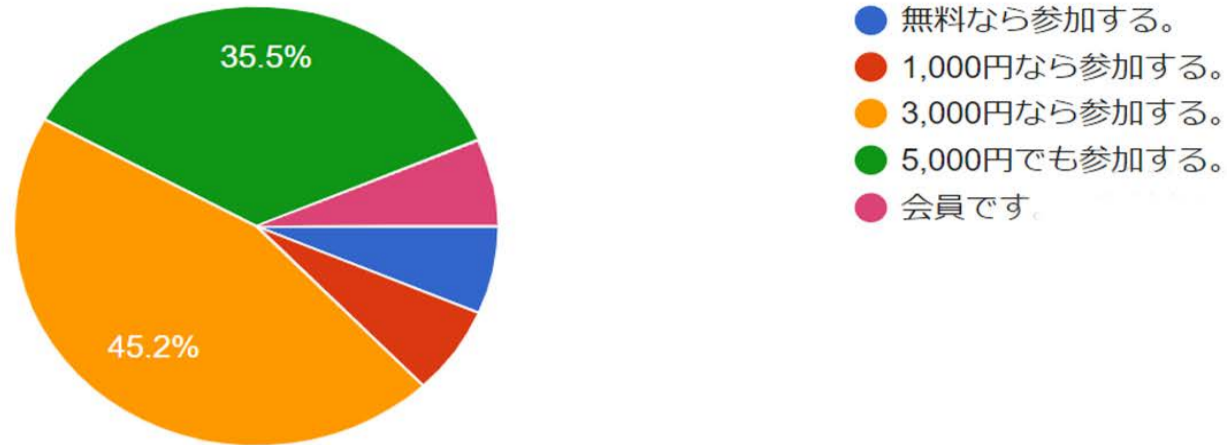


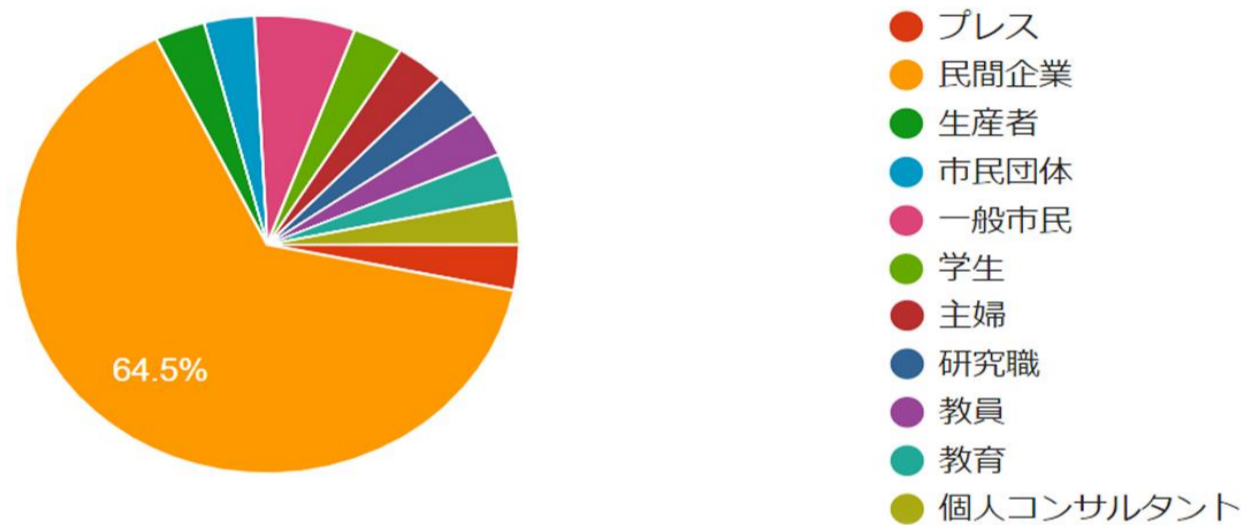
今回のフォーラムの参加費（NPOへの賛助）についてどう思われますか？

31件の回答



ご職業についてお答えください。

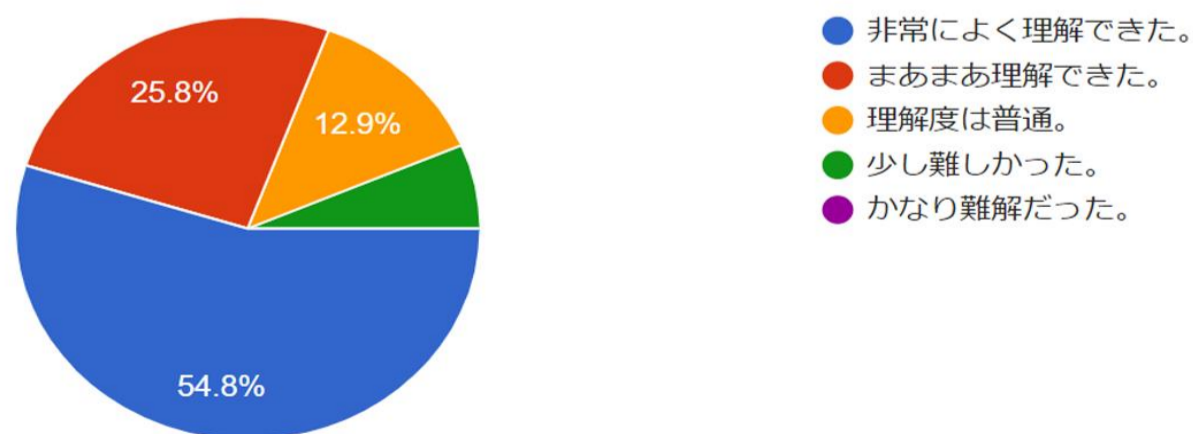
31件の回答



① 田部井 豊(農研機構)『ゲノム編集作物の開発状況と規制状況について』

ご講演内容の理解度についてご回答ください：① 田部井 豊（農研機構）『ゲノム編集作物の開発状況と規制状況について』

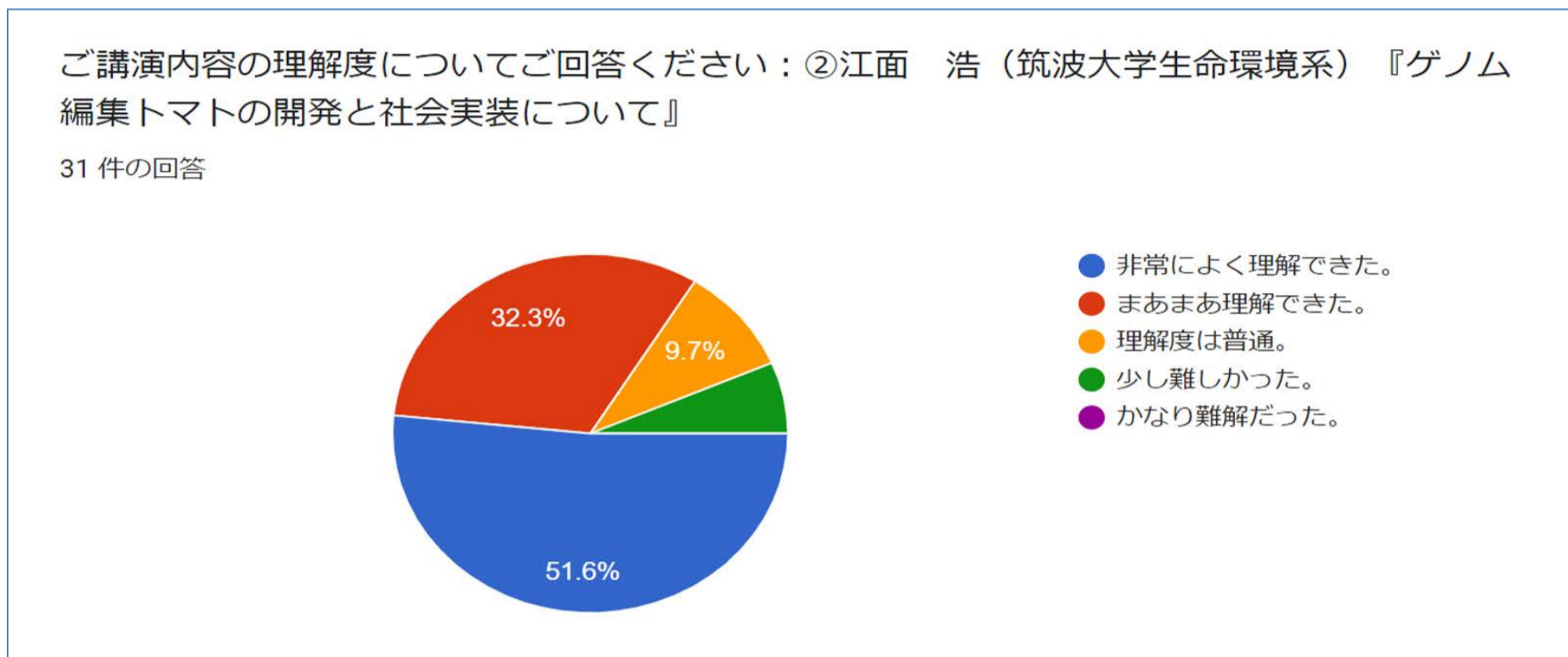
31件の回答



ゲノム編集技術全体について理解ができた。
ご説明が理解しやすかったです。ありがとうございました。
時間を間違えて聞けなかった

もっと基礎中の基礎が知りたかった。
改めて、育種とは何かをしっかりと理解することがゲノム編集技術を正しく理解できる入り口であることを確認できました。わかりやすいお話、ありがとうございました。
お時間の少ない中、技術や法令関係に関して非常に分かりやすく説明していただき、ありがとうございました。
まだ十分理解できたとは言えませんが、会社の人たちと共有したいと思います。世界との法規や表示に関連した情報をもう少し詳しく知りたいと思いました。加工食品の原材料や添加物にこの技術が使われた場合どこまでトレースできるか、得意先あるいは顧客からの開示要求にどこまで回答できるか心配です。
この分野は造詣がないのでやや難しかったですが、よく理解できました。
遺伝子組み換え食品に関する講演会で以前にコープこうべにお越しいただきました。わかりやすいお話、ありがとうございました。遺伝子組み換え技術とゲノム編集、一般的な育種について丁寧に解説いただき、理解が深まりました。これらの技術は日々更新されているにもかかわらず、なかなか一般の市民に情報が届く機会が少なく、そのあまりにも大きなギャップが安全性に対する懸念や不安をもたらすのだろうと改めて思いました。情報のアップデートが大切です。
文系の人間ですが何とか理解できるように話していただいたと思います。やっとゲノム編集について理解できました。
大変参考になりました。
技術と規制が大変判りやすく整理されており、役に立った
非常に論理的にまとまっていて分かりやすかったです。

② 江面 浩(筑波大学生命環境系)『ゲノム編集トマトの開発と社会実装について』

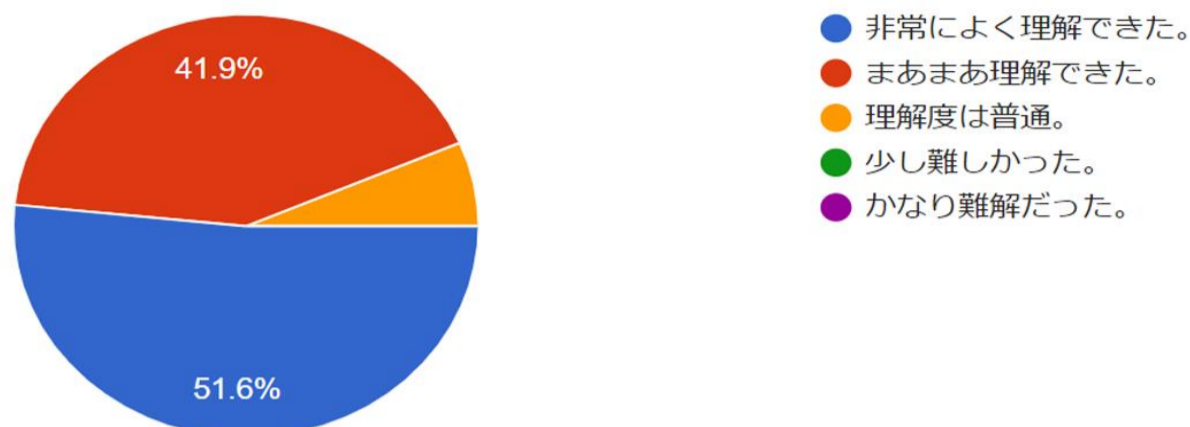


一日も早い発売を期待します。日本の食糧安全保障上、重要な技術のはじまりとして。
GABAトマトを商業化する場合のリスクコミュニケーションについて、いきなりマスマーケットではなく段階的展開と伺いましたが、具体的なお考えや計画があれば教えていただきたい。今後のゲノム編集技術応用食品の展開を考えますと、最初のコミュニケーションと受容性はとても重要だと思っています。
途中からしか聞けず接続がたびたびダウンした
具体的に実験室で何をしているのか、例えば、種の入った液体を試験管で混ぜている、種はどのように蒔いている/増やしているというイメージが分かるとより安心するのでは。
動物と植物におけるゲノム編集のアプローチの違いや、小麦(6倍体)の品種改良の難しさを改めて理解できました。ちなみに、旧モンサント社が実験段階で開発したGMO小麦は、偶然にも6倍体に対する改変が成功した事例なんですか？
毎日GABAトマトを食べて高血圧、ストレスがなくなると、医療費が下がり、経済効果につながりますね。
日本初のゲノム編集作物として上市する見込みであり、どのあたりに気をつければ良いかなど、非常に分かりやすかったです。
このトマトから得られたGABAを精製して単離した場合、それは食品でしょうか添加物でしょうか？ 現在のこのトマトの中のGABAをもっと高める研究はありますか？ GABA以外の成分に同じような試み研究されていますか？
学術面だけでなく、社会実装への熱意が感じられました。
”何故、トマトを優先したのか”に関するスライドが欲しい。
GABAリッチトマトという具体的な作物で、ゲノム編集についての技術をお聞かせいただいたので理解が深まりました。作物としてはほぼ完成版に近いと思われるのに、なかなか上市に至らない難しさについても理解できました。海外などに技術を盗まれた場合(知財の保護)に関して、また、新しいものを開発すればよいのお言葉には、この分野で日本の技術が優れていることの証のように思い、商品化が待ち遠しい気持ちになりました。
ゲノム編集トマトの有益性と、その以上での展開への課題等について理解できたと思います。
非常に興味深く拝聴させていただきました。ただ上市に出るにはまだハードルが高いと感じました
実際に動いているプロジェクトなので、社会実装の課題や対応がよく理解できた。
非常にしっかりと作り込まれているので、早く市場化してほしいです

③ 佐々 義子(特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ21) 『ゲノム編集食品に対する消費者の受け止め方』

ご講演内容の理解度についてご回答ください：③佐々 義子（くらしとバイオプラザ21） 『ゲノム編集食品に対する消費者の受け止め方』

31 件の回答

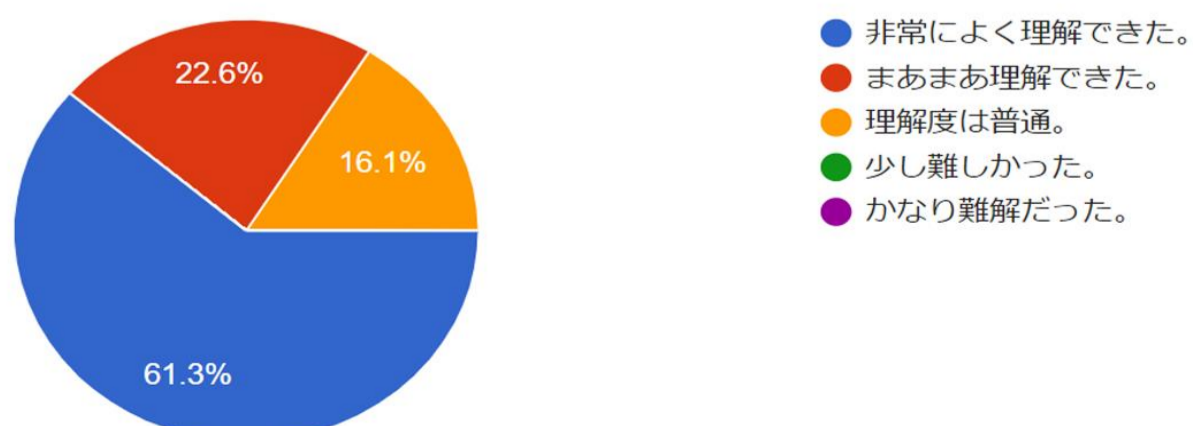


押し付けにならないコミュニケーションの大切さを感じた。
消費者をはじめとしたステークホルダーへの理解を得るためのリスクコミュニケーションの重要性は理解できました。ただ、実行するのは官産民がどのように連携すべきか難しい課題だと感じました。今後は教育との連携も重要だと思いました。
引用された本などを入手したいと思っています。
「確信バイアス」について話したくないとのことだったが多くの人は自らの聞きたい情報に耳を傾けるのは当然で(おそらく講師自身も)あり、この理由で話を避けるというのはむしろ「不適切なバイアス」と思われる
いつもながら素晴らしいアプローチです。
今日はありがとうございます。お話の内容はよくわかりました。ただ、リスコミは正解がないので、具体的にどうすべきかという点では難しいところもあり、アンケートのほう「まあまあ理解できた」とさせていただきます。今後とも一緒に考えさせていただけますと幸いです。
リスクコミュニケーションの難しさに関しては、改めていい勉強になりました。また、ご紹介された「リスクリテラシー測定尺度」に関しても「なるほど」と思わずうなづきました。九州でもステークホルダー会議を開催しようと言っていたのに、なかなか実行できず申し訳なく感じております。
ステークホルダー会議で、その立場になって考えることで、見方が変わるので、面白いと感じました。
ご説明も丁寧で分かりやすかったのですが、専門ではないために深くまで理解することが出来ませんでした。しかし、世間のゲノム編集技術に関する捉え方に関しての予測は、頷けるものであり、今後の展開に興味がありました。
学校教育での取り上げ以上にその親世代に対する教育を高める必要があると思います。遺伝子組み換えより理解を得られやすいように見えます。メディアへの取り組みを含めてご活躍を期待しています。
相手の身に立って考えさせるセミナーは面白そうと感じました。
ゲノム編集などの新しい技術に対しては、慎重な意見があつて当然ということで、日本のように満たされた社会で選択が自由にできるのであれば、「あえて買わない」という選択はあるのだと思います。その分、当事者意識というか関心も薄いのかとも。。。その中で、今回ご紹介のあったステークホルダー会議は、その場だけでも当事者となって問題解決に向けて話し合いのできる良い場の提供だと思いました。コープこうべでも1回開催いただきましたが、継続することで力が付きます。今後もチャレンジしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
バナナの放射能の話は思わず笑ってしまいました。そうした方に理解してもらうのはかなり大変だと思いました。
大変楽しく拝聴させていただきました。やはり属性によって受け取り方も様々だなと感じます
技術だけでなく、消費者側の現実を理解できた
リスクコミュニケーションの参考になる内容でした

パネルディスカッション『ゲノム編集食品～新たな育種技術のリスコミ～』 進行:山崎 毅(SFSS)、パネラー:各講師

ご講演内容の理解度についてご回答ください：④パネル・ディスカッション（進行：SFSS山崎） 『ゲノム編集食品～新たな育種技術のリスコミ』

31 件の回答



消費者の感じている漠然としたリスクにどう寄り添うかの難しさを改めて感じている。
山崎さんが何か提言するのかと思っていました。
途中でたびたびサイトがダウンして接続しなおさなければならなかった
GMOの二の舞は避けたいですね(GMOを取るか、世界の飢餓に静観する的な)。
踏み込んだ話も聞けて、興味をそそられました。時間が許せば、もっと深く話が聞ければとも感じました。
生産者が楽(効率的)になることが、消費者にとってメリットがあるということが伝わらない。過去におこった利益重視の企業の事故が根強く残っているのではないか。この考えの差をどうやったらなくなるのか。
質問者がマイクで直接質問するのは良かったと思います。ありがとうございました。
関連する質問をうまく拾って、議論を分かりやすくファシリテートしており、参加者の満足度が高まると感じました。
先生方のご回答が的を得ており、質問者のみならず全体として有意義な時間であったと感じています。
ディスカッションで講演者の声の一部聞き取りにくかった。マスク無しでできる環境、マイクの位置等検討して頂けたらと思います。よくできたディスカッションだったと思います。
チャットに質問が書き込まれていましたので、文字でも確認できましたし、改めてご本人から質問の意図を丁寧にくみ取っていただきましたので、わかりやすかったです。様々なお立場の方が参加されていたこともあり、質問もバラエティに富んでいて、より理解が深まりました。また、先生方の回答も本音で誠実にお答えいただいていることが伝わり、良いお話が聞けたと思っています。
皆様のお話も非常に興味深く拝聴しました
リスクコミュニケーションの努力を無にするような、ゲノム編集反対の社会運動家が出てくる可能性も否定できないと思います。対策をしっかりとしておく必要があると思います。

◆今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。

リスコミを考える良い機会になった。個人的にはゲノム編集技術の健全な普及に期待している。
参加された方でも持っている情報量に差があることがわかりました。一般の消費者ならなおさらだろうと思いました。
感想に書いたが接続のダウンがおおかったのは当方の機械的な障害か、それともソフト面の不具合化を確かめたい
ウェブ会議の視聴者については原則ビデオオフを徹底しては。
若干音声の不具合はありましたが、運営への工夫や準備から、オンラインセミナーでも通常と同じ感覚で聴講等させていただけました。ありがとうございました。一点だけ、今後もオンラインの場合、終了後に1時間程度のオンライン飲み会なども企画いただけますと、より一層いい機会になるように感じました。
折角質問の機会をいただいたのに、マイクをうまくつなぐことができず大変残念でした。今後もこういった機会が予定されているようですので、出来るだけ参加させていただければと考えております。ご講演いただきました講師の皆様、ご準備いただきました事務局の方、本当にありがとうございました。
腰痛持ちなので、電車移動がなく、自宅で負担のない姿勢で参加できるのが楽でした。
演者の先生の選定が適切で、ゲノム編集技術のリスクコミュニケーションの理解を深めることができました
対象となる方の持っている知識の状況に応じて、そもそも食べものとはどんなものか？ そもそも育種とはどのような行為かなど、適切な内容を共有しながら意見交換や対話を行っていく難しさを改めて確認できました。
未だ上市出来ていない状況でのリスクコミュニケーションは、先生方を始め雲をつかむようなお話も多くなるかと思いましたが、全体的に分かりやすくまとまっており、長丁場でしたがスムーズに理解することが出来ました。ただ、やはりオンライン会議であると込み入った話もできにくいと肌で感じました(このような状況下のため、仕方ないですが)。ゲノム編集は報道や説明の仕方を少し間違えると、「安全です」という言葉が凄く懐疑的になるかと思えます(実際に安全だと思えますが、言葉の乱用による重みが無くなるのが考えられます)。企業に勤めるものとして、難しい線引きではありますが、今回のフォーラムの内容を活かして正しい説明が行えればと思います。
ゲノム編集についての理解が進みました。ありがとうございました。遺伝子組換え技術導入時のような混乱はないだろうとの結論だったと思いますが、世間一般の承認を得るのは非常に難しいと考えています。情報が整ってきていることは判りましたが、話を聞いてもらえる土俵にどうやったら上がってくれるかが課題だと思います。
自然科学、社会科学、人文科学、すべての分野が溶け合った内容で、とても勉強になりました。
オンラインでの実施は大変だったと思いますが、気軽に参加が出来る事は非常にメリットがあると思います。
主催者の方々のご準備は大変だったと思いますが、臨場感もあってとてもよかったです。懇親会が無いのは残念ですが、この方式は出かかずに済むので年寄りには混雑のリスクを避けるうえで大変ありがたいと思います。コロナが収まるまでしばらくこの方式を続けて頂くのはどうでしょうか？ 宜しくお願い致します。
遺伝子組換えの教訓？を踏まえ、前進していこうとの想いが良く理解できました。
音声時々途切れて聞き取りが困難であった
学生さんにもこのようなシンポジウムを聞かせてあげたいと思いました。
まだ知らないことが多い分野でしたので大変勉強になりました
技術と社会実装、消費者意見がバランスよく織り込まれていて、全体像を理解するのに大変有意義なフォーラムでした
演者の皆様 山崎様はじめ運営の皆様 素晴らしい勉強の機会を与えてくださり、誠にありがとうございました。ゲノム編集食品のリスクコミュニケーションについて、多面的に考える契機となりました。今後の技術開発、作物開発、社会実装、社会における議論の潮流、法整備等について、怠ることなく情報を得たいと思います。この度はありがとうございました。
リモートでも十分に聴講することができました。
聞いている層が専門家なので、いつも同じような質問になってしまいますね。

◆今後、食の安全・安心・リスクに係る分野で、どのようなテーマのフォーラムを希望されますか？

海外と日本の国民性を考慮したときに、リスコミの仕方は変わるのかどうか。
普通の食品にでもリスク物質が含まれていることを少し出すべきではないかと思っています。コーヒーには四塩化炭素がごく微量ふくまれているといったことかなと思います。
安全と安心の関係について考察する

食の安心・安全について、グローバルスタンダードとガラパゴス的な日本の違いと将来
フェイクニュースに対する対応、食糧確保(自給率向上含む)の問題
栄養を効率的にとるため、サプリメントを摂取している方が増えていると感じます。血圧など、普段服用している薬や、他のサプリメントとの併用で、体にどんな影響があるか関心があります。
COVID-19が蔓延している中で、生活様式の変革が余儀なくされています。その中で、外食産業や中食産業として気を付けるべき部分(食品衛生等)に関するフォーラムなどに興味がございます。また、今回の様なゲノム編集技術が世に広まり始めた際には、改めてフォーラムを開催していただき、当該技術・作物が世に広まる前と後に対する比較等を実施した結果をご共有いただければ幸いです。
新型コロナウイルスの感染が拡大する中における食品の安全・安心について お客様へのコミュニケーションの取り方について
今のコロナに関する様々な問題、特に物資の不足に対する不安を考えると食の自給率の向上とその食のリスクと安全性確保に関するテーマがあればと思います。
コロナ禍の食の安全・安心に及ぼす影響について(ないならば、どうしてないのかも含めて)
「農業」について。ネオニコチノイド農薬やグリホサートなど話題になっています。有機栽培は本当に安全で持続可能な方法なのでしょうか？といったことを疑問に思っています。
コロナと食品安全にかかわる内容(海外の動き、国内の動き)
ハラール、ヴィーガン、オーガニックなど本来「安全」や「健康」と関係ないものが安全、健康として宣伝されている

◆ゲノム編集食品に関するリスクコミュニケーションのあり方について、どうあるべきでしょうか？。

早く実物が発売されて、みじかなそんざいとなり、自分ごととして考える機会が増えることも期待。今は想像しているに過ぎないので。
確証バイアスのお持ちの方は仕方ないにしても、育種の基本的なことを学ぶ機会を与えたほうがいいかなと思っています。
推進者からの情報に偏っていた
朝顔を育てる学校の授業で、ゲノム編集の実習も加味すると面白いかも。
まずは、情報提供だと思います。厚労省のホームページなど、2019年10月に開設されていますが、未だに「準備中」ばかりですし、「リスコミ」のページも一般的なリスコミの話しかなく、ゲノム編集のリスコミは基本的なことがまだ十分できていないかと思っています。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/bio/genomed/index_00012.html
この間色々な場所で話をする機会があり、育種から食糧問題など、ゲノム編集技術が求められている背景や具体的技術に関することなどベネフィットを中心に説明をしていました。しかし、デメリットも正しく伝えなくてはと気づかされたので、改めてゲノム編集技術のデメリットを考えると、民間レベルでもやれてしまう比較的容易な技術であることによるリスクしか思いつきませんでした。他に、特徴的なデメリットがあればご教授願います。
育種・品種改良に関心を持っていただくことが重要だと思います。
化学的な技術でありながら、遺伝子の操作は神の領域といった考えもあり、難しいとかんじました。
メリットをきちんと伝えること、事実をゆがめて伝える様な動きには毅然と対応すること
ゲノム情報は比較的オープンソースになってきていると感じています。しかし、詳細に中身を理解している人は少なく、説明を間違えると誤った理解を植え付けてしまう可能性があると思います。そのため、リスクコミュニケーションを実施した内容をすぐに全て公表するのではなく、有識者の元正しい情報を正確に伝える必要があると思います。最後の方に質問として挙げておりましたが、基本的にゲノム編集技術=GMOという考えの方が多いため、GMOの時の事例を元として良いところは吸収し、悪いところは反面教師として進めれば良いかと思っています。
ゲノム編集食品は通常自然界で発生するものと変わらないと言う事を理屈では分かっている消費者団体の方はご理解いただけていないのが現状だと思います。消費者の方への教育と啓蒙を積極的に実施し、社会を巻き込んで進めていく必要があると考えます。
消費者への情報伝達は表示が第一手段と考えられます。輸入食品を含めた表示の在り方もリスコミの一つとして検討が必要だと思います。
心配なのは、一つのネガティブ情報が尾を引くこと。海外の未認可品がいつの間にか流通していた、といった事象(事件)が発生すると、全体が大きく後退するのではと懸念します。
説明を継続していくことが大切であることを実感しました。
まだ実際の作物が出回っていない中で、一般市民とのリスクコミュニケーションには難しさもあるとは思いますが、佐々先生のおっしゃるとおり、「育種」についてしっかりと伝えるところからなのかなと思いました。事実をきちんと伝えたい一方で、不安に思うことについてひとつひとつ答えていく形がよいのかもしれない。
「生産者直送オーガニック野菜」のECサイトの逆で、リーズナブルな価格、高機能を売りにしたゲノム編集高機能野菜のECサイトなどから、販路を拡大していくことは有効だと思います。また疲弊している農村の地方自治体とのコラボが進めば突破口になるかなと思いました。
やはり一般市民に対するリスクとベネフィットを正しく発信していく必要があると感じます
リスク側だけを強調せず、リスクとベネフィットの両方を知らせることが大事。一般にリスクから入りがちなので、ベネフィットを理解してもらうには「誰もが否はない」かつ「誰かの利益に偏らない(社会全体にとって良い)」課題にゲノム編集技術を応用して、認知度を高める進め方はいかがでしょうか？ トマト、ジャガイモも確かに社会課題解決であるが、もっとお金のにおいがしない課題は無いかな・・・と考えさせられます。
名称が難解では？品種改良(認知されている)が先で、そのひとつの方法として、メリットとともに説明されると、理解者が増え社会的に認知されると思います。
情報開示の上で実物を動かすことが最高のリスクコミュニケーションだと思います。

◆今回のオンライン・フォーラムについて、ご要望や改善すべき点がありましたら、ご意見をお書きください。

とても良い機会になりました。
ADSLしかない、マイクとカメラもついていないパソコンでしたが、映像音声はクリアでした。聞き取りにくい発言もあったので検討の余地ありかなと思っています。
消費者の視点を反映させるように努めること
これからはwebセミナーを主流にしては。
運営がとてもよかったです。スライドも見やすかったですし、映像・音声もほぼ問題ありませんでした。質疑もチャットでできますし、非常に良かったと思います。遠方から参加される方の負担を考えますとオンライン開催は非常に有用だと思います。一番良いのは実開催・オンライン併用だと思いますが、事務局の負担が大きいのであれば「実開催のみ」より「オンライン開催のみ」の方がむしろよいと感じました。
通信環境によって、SFSSにおける先生方の声が聞きづらい時もありました。これは、当方の原因かもしれませんが…。しかし、オンラインで距離に関係なく、参加できる場づくりは大変よいと感じています。

先生方の説明が丁寧であり、お時間が足りなかったと感じる部分もございます。そのため、恐縮ですが1点だけ。最後の質疑応答の時間を少し減らし、先生方の説明時間に充てる(+10分程度ですが)ことで、よりスムーズなオンライン会議になるかと思いました。
前回(5/16)に比べ、かなりスムーズになったと感じました。しかしながら、(これは当方の課題ですが)モチベーションが上がらず、直接聴講させていただくほうが、身につくように感じました。
頂いたメールの画面から入室したところ、音声がかえり、画面も見えませんでした。今後は初めて使用する会議体ではテストをしてからやるべきだと思います。
PCオンライン環境が整っていれば、遠方からの参加者にとっては開催方法として利便性が高いと思いました。また、主要都市でしか開催されないリスクも、ネット環境あればサテライト会場(会場スクリーン投影で)とかを設けて開催するというのもできそうかなと。
とても良くできましたと思います。演者の先生方とのパネルディスカッションも含め、もう少し広さに余裕があり、設備もそれなりに整った場所での開催を検討して頂いてはどうでしょうか？
佐々先生のロールプレイング活動は有効であり、活発に継続される事を望みます
ディスカッションになると、参加している感が薄れてくるのはどうしてでしょうか？自分自身の問題かもしれませんが、ふと思いました。
オンラインでしっかりと聴講することができました。従来の形式であれば、東京まで出向く必要がありましたが、神戸に居ながら参加できるというのは、時間もコストもとてもありがたかったです。質疑についてもスムーズに行われていたと思います。事務局の皆様はご苦労があったかと思いますが、今後も継続いただけると嬉しいです。
オンラインで実施していただき、大変感謝しています。現地で行えるようになってオンラインとの併用をしていただけるとありがたいと思います。
Google Meetsは初めてだったが、全く問題なかった。
パネルディスカッションの質問はまずはテキストに回答の方が良いと感じました。マニュアルや事前チェックインテストなど準備していただき、google meetは初めてでしたがスムーズに参加できました。ありがとうございました。
オンラインフォーラムは非常にわかりやすいですが、やはり何回かに一回は実際に顔を見たいですね。意見交換会もやりたいですね。

◆備考(SFSS事務局へのご要望・通信欄)

お疲れ様でした。
初のオンラインフォーラム、手作りのパーテーションなど工夫されて大変良かったと思います。
申し訳ございません。ご連絡いただいたメールで一部読み込みまでに時間を要するものがございました。私のPC環境によるものかも知れませんが、ご連絡まで。本日はどうもありがとうございました。
中々勉強会等へ参加が困難な中でこのような形で実施頂けたのは貴重だと思います。今後とも有意義な場の設定をお願い致します。
オンラインは参加しやすいので非常に良いです。
ご準備、その他ご苦労ありがとうございました。
大変に勉強にありました。ありがとうございました。
大変遅くなりまして申し訳ありません
楽しみにしていたのですが、接続トラブルでリアル受講できませんでした。すいません